

春日大社国宝殿 冬季特別展

貴族の誇り・武士の魂

—— 関白・将軍の刀など ——

令和5年12月23日(土)～令和6年3月31日(日)

【前期】12月23日(土)～2月4日(日)
【後期】2月6日(火)～3月31日(日)

〈開館時間〉10:00～17:00 (16:30受付終了)

〈休館日〉令和6年2月5日(月)



二条関白のステータスを表す
黄金の太刀が脇に見える

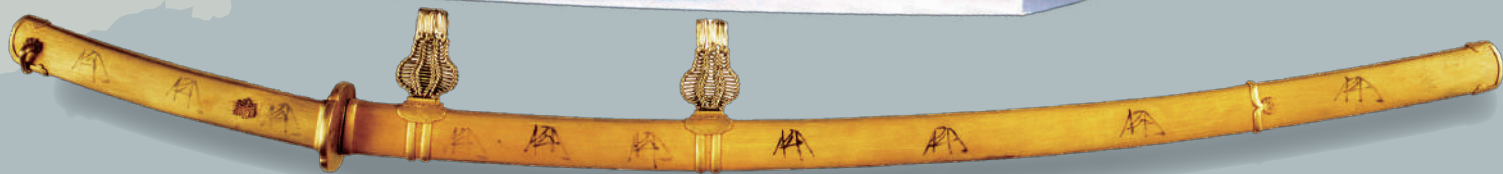
【前期展示】
春日本 春日権現験記 第二巻
江戸時代



【前期展示】〔国宝〕沃懸地獅子文毛抜形太刀 鎌倉時代 部分



金装花押散兵庫鎖太刀
刀身 部分



足利将軍家奉納 〔国宝〕金装花押散兵庫鎖太刀 南北朝時代

春日大社 国宝殿

Kasugataisha Museum

拝観料

大人 ¥500 (20名以上400円)
高校・大学生 ¥300
中学生・小学生 ¥200

アクセス

JR・近鉄奈良駅より
春日大社本殿前行きバス7～10分、下車すぐ
〒630-8212 奈良市春日野町160
Tel. 0742-22-7788 / Fax. 0742-27-2114

古事記などの日本神話でも、古代の人々が刀剣を神あるいは靈力の宿るものと考えていた事がうかがえます。当社の御神宝としても不可欠な器物で大宮・若宮の神々には数多くの刀剣が捧げられています。古来、貴族たちは皇室や国家を護るため刀剣を持ち伝えました。武士たちも様々な武器を持つ中で特に刀を愛し自分たちの魂として、大切に扱いました。

春日大社には関白や将軍たちが奉納した最高級の刀剣が伝わります。また祭礼の中でも奈良・平安の昔から刀剣が用いられています。刀剣が祭礼の中でどんな役割を果たしているのか？絵画にはどのように描かれているのか、春日大社で生きている刀剣の文化もご紹介します。



貴族の刀剣

【前期展示】重要文化財 三銘柄藤巻剣刀身 平安時代

飾剣と衛府の太刀



【前期展示】国宝 黒漆平文飾剣（柄白紋）部分 平安時代



【後期展示】国宝 金地螺鈿毛抜形太刀 平安時代



【前期展示】国宝 沃懸地獅子文毛抜形太刀 鎌倉時代



貴族と刀剣を描く

【後期展示】春日本 春日権現験記 第3巻 江戸時代

貴族の誇り

兵庫鎖太刀 神へ捧げる最高の太刀



国宝 金装花押散兵庫鎖太刀 南北朝時代

黒漆太刀と皮包太刀 実用に徹した戦の太刀



重要文化財 赤銅造太刀 南北朝時代

太刀の差添 腰刀



重要文化財 柏木菟腰刀 南北朝時代

武士の魂

刀の始まりと刀身様々



【前期展示】国宝 菱作打刀 南北朝時代



武士と刀剣を描く

春日本 春日権現験記 第19巻 江戸時代